

# 経営比較分析表／団体全体（令和6年度決算）

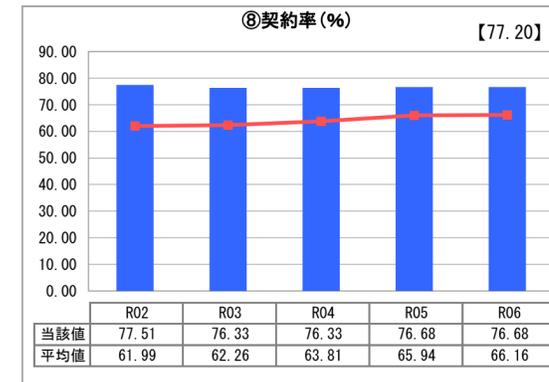
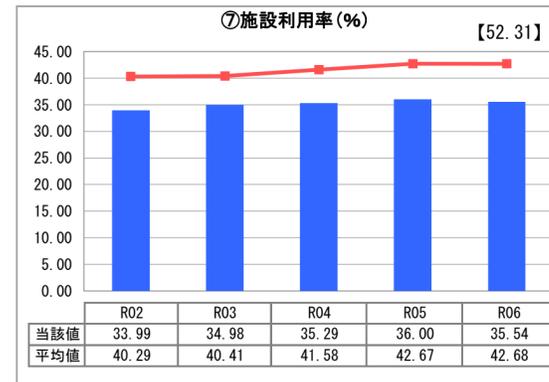
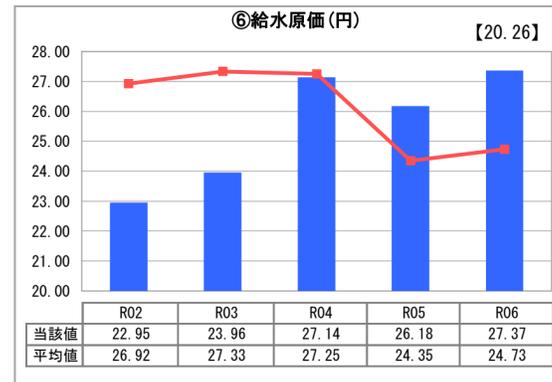
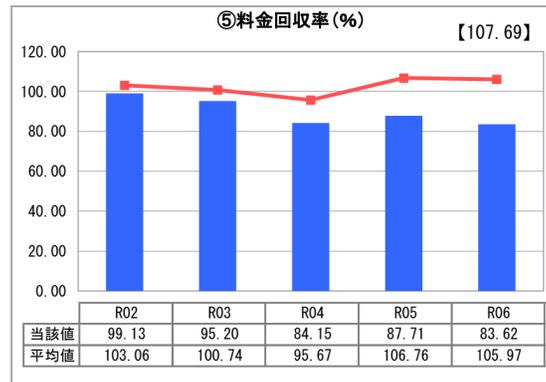
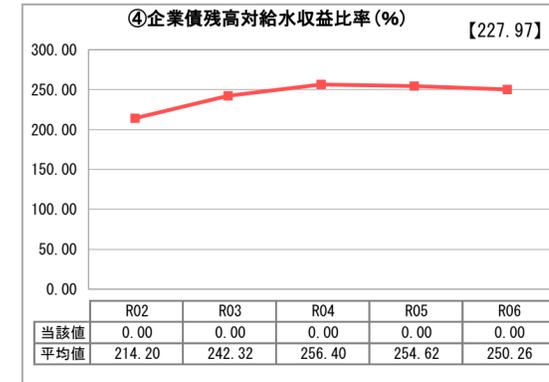
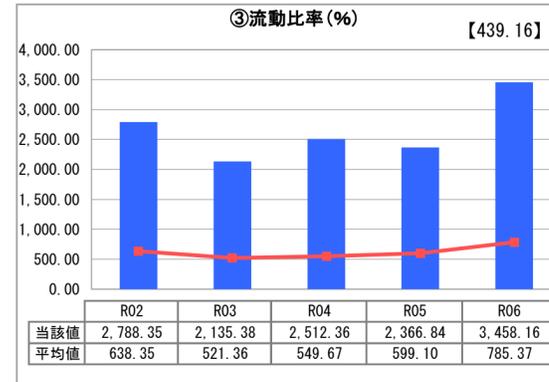
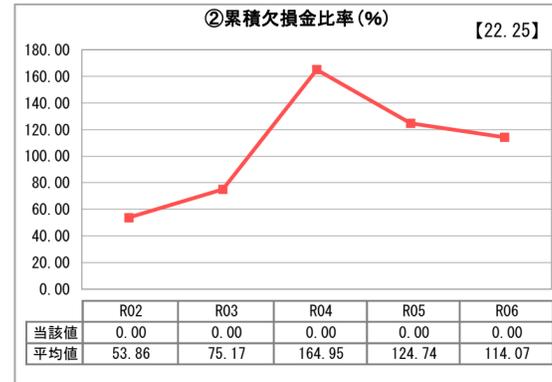
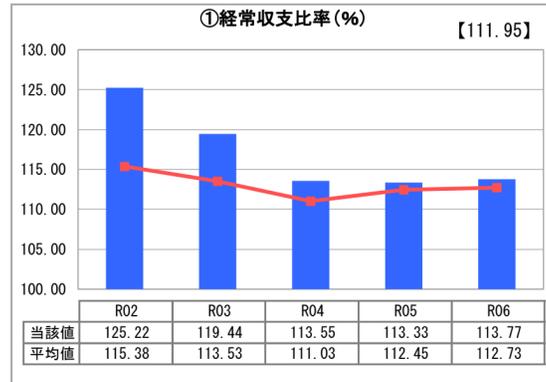
兵庫県 尼崎市

【事業概要】

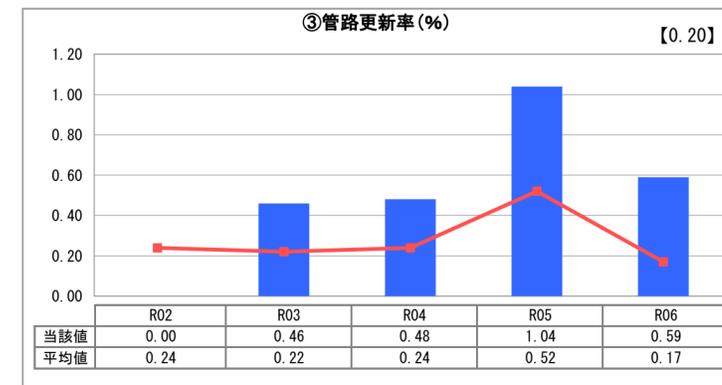
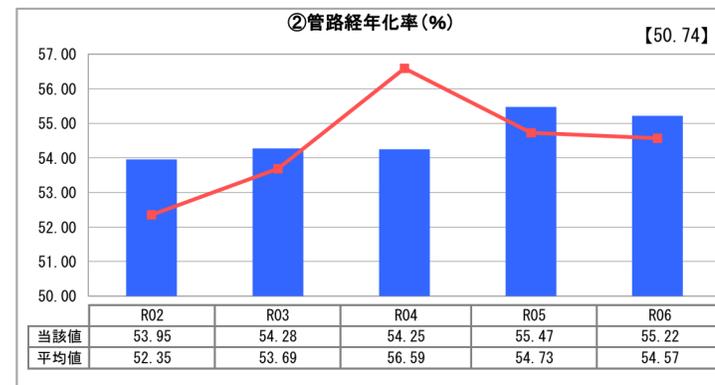
業務名 法適用	業種名 工業用水道事業	現在配水能力(合計)(m <sup>3</sup> /日) 170,000	類似団体区分 中規模	施設数 1	1日平均配水量(m <sup>3</sup> ) 60,422
資金不足比率(%) -	自己資本構成比率(%) 95.8	給水先事業所数 53	契約水量(m <sup>3</sup> /日) 130,363	管理者の情報 自治体職員	

<b>グラフ凡例</b>
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和6年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

- ① 経常収支比率  
平均値よりも高く、指標が100%を上回っており、良好な状況である。
- ② 累積欠損金比率  
0%を維持しており、欠損金は発生していない。
- ③ 流動比率  
平均値よりも高く、100%を上回っていることから、財務的に安定した状況である。
- ④ 企業債残高対給水収益比率  
平均値よりも低い水準であり、今後の事業費を見通したうえで借入れを行っておらず、適切な状態である。
- ⑤ 料金回収率  
平均値よりも低い水準であり、給水原価の増により、前年度に比べて減少した。
- ⑥ 給水原価  
平均値よりも高い水準であり、経常費用の増により、前年度に比べて増加した。
- ⑦ 施設利用率  
平均値よりも低く、ユーザー企業の水需要の減少などにより、配水量と施設能力との乖離が生じており、施設能力が過大な状況である。
- ⑧ 契約率  
平均値よりも高い水準であるが、今後の需要増の見込みは低く、契約率の減少が続くことが見込まれる。

### 2. 老朽化の状況について

- ① 有形固定資産減価償却率・② 管路経年率  
平均値よりも比較的高い水準となっている。高度経済成長期に整備した施設が更新時期を迎えていることが要因である。事業費の平準化を図るため、施設の実耐用年数を見極め、計画的かつ効率的な更新に取り組んでいる。
- ③ 管路更新率  
各年度で更新率にばらつきはあるものの、平均値と比べ比較的高い水準であり、今後も計画的に経年化した管路の更新を行っていく。

### 全体総括

近年、ユーザ企業数は横ばいで推移しているものの、新たなユーザが見込みにくい状況下で、物価高騰の影響等により、今後の経営環境はより一層厳しさを増すものと考えられる。  
このような状況を踏まえて策定した「あますいビジョン2029」（2020～2029年）における事業運営指針に基づき、施設の耐震化・老朽化対策を着実に実施するとともに、経営環境の変化を踏まえ、安定的に事業運営できるよう、経営基盤の強化に取り組む。